

# 公益財団法人 千葉県教育振興財団

社会学部現代社会学科  
3年 岡野 瑛莉

## 1. 実習企業（団体）の概要

財団は千葉県民の教育・スポーツ・文化活動を応援している。文化財センターでは、千葉県内における遺跡等埋蔵文化財の調査や文化財保護思想の涵養・普及を図り、県民の生活向上と地域文化の充実に寄与することを目的に活動している。

- ・ 法人設立 昭和49年11月1日  
(財)千葉県文化財センターとして千葉県教育委員会より設立許可  
平成17年 9月1日 (財)千葉県教育振興財団に名称変更  
平成24年 4月1日公益財団法人に移行
- ・ 本部 千葉県四街道市鹿渡 809 番地-2
- ・ 理事長 平林 秀介

## 2. 実習内容

【水洗】土器についている泥を水で磨き落とす作業。 【注記】土器の裏右下に番号を書き入れる作業。 【拓本】墨を使い土器の模様を表す作業。 【発掘調査】上層部分の掘削。

## 3. 実習の成果

今まで無知であったため、インターンシップを通してたくさんの知識が蓄えられた。旧石器時代～縄文前期の調査を行い、表土掘削をするため、道具の使い方を一から教えていただいた。調査における注意点や専門的なアドバイスを受け、ビジネスマナーを学ぶことができた。挨拶がとても重要なことだと感じ、チームワークが大切な仕事現場であった。初日に発掘調査を行った時よりも、次第に自分自身スキルがあがっていくと感じ、道具の使い方や名前も最終日には完璧に覚えることができた。公務員文化財専門職、学芸員の資格や就職に就きたい人には大変よい経験ができるインターンシップであると感じた。

## 4. 実習の感想

今回、発掘調査のインターンシップでは、普段扱うことのない道具を使ったため、発掘に慣れるには時間がかかったが、調査員の皆さんが優しく教えてくださったのでとても充実した研修であった。発掘調査だけではなく、室内の保存処理の作業では、実際に発掘された本物の縄文土器に触れると同時に、観察を通し、当時の生活背景などを学ぶことができた。保存処理では、水洗による洗浄や、土器の破片に管理番号などを書き入れる注記をするなど細かな作業を行った。私が今まで博物館などで見てきた土器というものは、たくさんの人が一つ一つ手作業で発掘し、保存処理などの細かい作業を施し展示されていたということを知ることができて本当にいい体験だったと思う。なかなか出来るような体験ではないので、後輩たちにもぜひ勧めたいインターンシップである。

— 実習プログラム —

日数	実習日	実習内容
1日目	8月23日(火)	水洗、注記、拓本
2日目	8月24日(水)	発掘調査
3日目	8月25日(木)	発掘調査
4日目	8月26日(金)	発掘調査
5日目	8月29日(月)	発掘調査